

山江村 “^{とき}時代の暦”

私たち NPO 法人かチャリンクやまえは発足してから 6 年、時代（とき）をテーマに昭和の宝物としてよみがえった「時代の駅むらやくば」を中心に活動をしてきました。



これまで山田地区、万江地区の史跡巡り散策マップと包装紙をつくり、時代のカルタの製作を行ってきました。そして今回は昨年より「時代の暦」作りを進めてきました。

山江村の独自の歴史や行事、120 年余り私たちの先代が築いてきたみどり豊かな「やまえむら」のこよみを作ります。平成 24 年度の 1 月から 12 月までの月めくりカレンダーです。これまでの資料をみんなで検索し、ワークショップも何回も重ね、なんとか準備をしてきました。今回は山江村役場や地元企業にも声をかけて少しでもたくさんの方に使っていただけるよう協力もいただきます。

そしてこのカレンダーが、新しい時代のカレンダーとともに山江村の暦として家族の中、地域の中に入れていくことを望みます。

すべての歴史が網羅なく入っているとは思いません。このカレンダーを元に、忘れていた情報や抜けていた歴史もどんどん出していただいて、25 年、26 年と継続してこの取り組みをしていこうと思っています。

この八月から予約受付を行っていますので、村外に行かれている家族や親戚の皆様にもぜひ声を掛けてください。よろしくをお願いします。（理事長 横山浩之）

「平成 23 年度通常総会」開催 ~誠実に 着実に そしてスピーディーに~

去る 5 月 26 日（木）午後 7 時より、時代の駅むらやくば 2 階研修室において、山江村役場から豊永産業情報課長、迫田主査の臨席を賜り、31 名（委任状も含む。）の会員が出席して、平成 23 年度通常総会を開催しました。

まず、横山理事長が「昨年度は、レストラン事業を主に活動を行ってきたが、新たな取り組みとして、時代の駅農園制度の導入、新かチャりの日の実施、2 階ギャラリーをオープンした。平成 23 年度からも、時代の駅むらやくばの指定管理者として運営を任された以上、皆さんと力を合わせて努力していきたい。」と挨拶しました。



次に、豊永産業情報課長が「農園制度の導入や時代の暦製作、2 階ギャラリー喫茶の運営、視察の受け入れなど様々な取り組みを行っていただいております。施設の運営並びに都市と農村の交流促進に成果を上げていただいている。今後も村としても支援をしていきたい。」と祝辞を述べられました。

議事に入り、平成 22 年度の事業報告並びに決算報告、平成 23 年度の事業計画並びに予算について審議され、それぞれ可決承認されました。

平成 23 年度は、レストラン経営の健全化、「かチャりの日」実施によるコミュニケーションの強化、「時代の暦」製作・「かチャり便り」発行による広報・啓発事業の充実、「時代の（歴史的）施設」の環境保全活動への取り組み、文化・芸術分野での地域貢献、グリーンツーリズム、観光交流への取り組みを、事業の柱としております。

発行：NPO 法人かチャリンクやまえ
〒868-0092 熊本県球磨郡山江村山田甲 1415
0966-35-7000 fax 0966-35-7001
email kachari.yamae@gmail.com

かチャり便り

第 4 号

スペシャルランチが好評でした

6 月の「時の記念日スペシャル弁当」、七夕の「夢結びランチ」が大変好評でした。

時代の駅むらやくば 1 階の「やまえのまんま」では、今後も、「お月見ランチ」や「紅葉ランチ」、「勤労感謝スペシャル」など、皆様の健康を応援する特別メニューを続々と企画していきます。

どうぞお楽しみに。



営業時間 11:30 ~ 14:00

- 日替わりランチ
- タイカレー
- ハンバーグ定食
- 生姜焼き定食
- 旬の野菜入りカレー
- 季節の野菜てんこ盛り 等

夜の宴会も承ります（要予約）



「松本正運古典絵画展」開催中

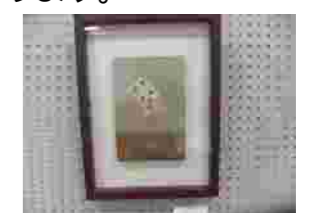
~ギャラリー喫茶コーナー~

昨年 11 月 1 日にオープンした「時代の駅ギャラリー」では、7 月 26 日から 8 月 31 日まで「松本正運古典絵画展」を開催しております。

松本正運氏は、大阪芸術大学芸術学部美術科を卒業され、人吉一中勤務を皮切りに郡市の中学校の美術教諭として 35 年間勤務されております。山江中学校にも通算 12 年間勤務されておりました。

松本氏は、身近なものの中から心ひかれたものを、印象を大切にしながら超写實的に表現し、テンペラと油彩の技法を複合的に用いることにより、より細密に描きだしておられます。

5 年程前から、熊本市や郡市内でグループ展・個展を開かれております。



「時代の暦」も「かちゃりの日」でワークショップ

～新かちゃりの日活動報告 Vol. 4～

昨年9月からリニューアルした「かちゃりの日」。

5月は環境保全活動ということで、29日に山田西川内にある史跡「伝助どんの墓」(山江村文化財指定)の除草作業を計画しておりましたが、この時期にしては珍しく台風1号に続き、台風2号が九州地方に接近したため、止む無く延期となりました(8月7日に実施)。



6月と7月の「かちゃりの日」は、平成24年版「時代(とき)の暦」製作のためのワークショップを開催しました。

6月17日は、「時代(とき)の暦」販売までのスケジュールや、デザイン担当の田川氏にも参加いただき、暦のデザインや文字の配置などについて意見を出し合いました。表紙は時計を想像させるデザインで、毎月の暦には、その日に山江村であった出来事が記され、当時の写真なども添えられています。

7月14日は、4回目となる「時代(とき)の暦」製作のためのワークショップで、17人が出席しスケジュールの最終確認と、暦に採用する山江村の記念日について活発な話し合いをしました。暦に使用する古い写真や記念日のデータなどの入稿を8月10日までに、9月15日から印刷を開始し、販売を10月20日から行う予定です。明治・大正・昭和初期の写真収集については、村民の皆様からも協力していただけるようアナウンスをすることになりました。

「かちゃりの日」の活動の後は、恒例の誕生会を行いました。9月の「かちゃりの日」でまる一周年になりますが、これからもいろいろな活動を実践しながら、交流を深めて生きたいと思っておりますので、皆さんもどうぞ気楽に参加してください。



かちゃりとは協働の精神をもってお互いを助け合う、球磨地方の方言です。

笠をかぶっての田植え作業を見かけました。

流石に手植えでの作業はみかけませんが、暮らしのどこかに昔の雰囲気が残っていると、カッコよさを感じます。古いからこそカッコいい。



映画『コクリコ坂から』の中で、「新しいものばかりに飛びついて歴史を顧みない君達に未来などあるか」というセリフが出てきます。今改めて、戦後の急速な変化のなかで忘れ去られたものや、切り捨てたものが見直されています。

古き良き慣習と新しい時代を切り開く先駆的取組みのコラボレーション。あなたは実践していますか？

～ シリーズ * お店紹介コーナー ~

今回は山江村山田手石方・横山機械設備・さんです。

初代社長の横山皖堅さんは、人吉市内の消防ポンプ、タバコ乾燥機等を取り扱う会社に長年勤務され、昭和60年に横山機械設備を開店され、各種機械の販売修理、水道工事等を手がけてこられました。又、山江村の宝物「ボンネットバスマロン号」の復活にも尽力され、現在はボンバスを走らせよう会の会長さんです。そして7年前に長男の浩之氏に社長を譲り、営業品目も水道設備、ポンプ、ボイラー、太陽光発電装置等の販売設置から、土木建築工



事まで拡大し、頼まれれば何でもこなす、大変便利なお店として発展してこられました。現社長の浩之氏は、熊本市の平田機工と言う各種製造機械ロボット、プラントの設計施工等の会社に、設計担当として9年間勤務され、その後、故郷山江村へ。お店のモットーは「何を頼まれても断らない」だそうです。何でも出来るようにと、各種資格取得に挑戦し、現在は重機・土木・水道・排水



等は勿論の事、造園工事関係の資格まで、約20件の資格を取得されました。又、両親も様々な資格を取得されて、お客様の要望には何でも取り組んでいきたいと頑張っておられます。皆さん、地産地消ならぬ、地元の仕事は、おいに地元の業者を活用しましょう。どうぞ宜しゅう頼むばい

浩之氏にこそーっと聞いてみた

よう山江に帰って来たい、何がきっかけじゃったるか？ すると浩之氏

「外から山江村の情報を、インターネット・新聞・テレビ等で見ていると、親父達がボンバスの復活に燃えていたり、村民が地域の発展の為色々な事に積極的に取り組んでいて、すごく活気を感じ、自分もそのスタッフの一員として一緒に楽しみたい」と思い喜んで帰って来たとの事。

浩之氏は、NPOかちゃリンクの理事長として、又、色々な分野で大活躍中です。

お問い合わせは：横山機械設備・電話・0966-22-6252 まで

* 今回のお店紹介者は NPO 会員 & 理事・中竹幸利でした *

